

事業所名

デイサービスこすもす

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	一人ひとりの個性を大切に、切れ目なく、丁寧に子供の成長を家族とともに支え、成長の過程を家族とともに喜ぶ。地域に根ざした役立つサービスを展開していきます。							
支援方針	個別療育と集団療育を組み合わせることによって、様々なニーズにお応えした支援を提供します。また、児童発達支援と放課後等デイサービスを併設することによって、切れ目のない、長期的な支援を行うことができます。ご家族、保育園、学校などの関係機関との連携を図り、多方面での支援も提供していきます。							
営業時間	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	ご家族とのお話、保育園、学校等の様子などを聞き取りすることにより、普段の生活の課題を支援の中に取り入れていきます。 児童発達支援では、子どもの発達段階に沿った基本的な動作（食事、排泄、着替え等）を習得できるように支援していきます。 ・放課後等デイサービスでは、低学年時には身辺自立の支援を、高学年時には、普段の生活、学校の生活に関する課題や心配事などを解決できるように必要な支援をしていきます。						・児
	運動・感覚	子どもの基本動作の習得度合い把握し、発達段階と照らし合わせながら、基本的動作の習得を目指します。 もの持つ感覚の特性を把握し、療育を通して、環境に適応できるように成長を支援していきます。 ・児童発達支援では、生活に必要な基本的動作の習得を目標とし、その子にあった速度で少しずつ段階を踏んで習得を支援していきます。 ・放課後等デイサービスでは、様々な活動を体験することによって、新たな運動面、感覚面での課題や関心を発見し、支援をしていきます。						子
	認知・行動	病院等での検査情報、専門的なスタッフによるアセスメントなどをもとに、認知面での課題を把握し、個別療育中心に支援をしていきます。 児童発達支援では、専門的なスタッフによる個別療育により認知面を支援し、集団療育により、集団内での行動の適正化を支援していきます。 放課後等デイサービスでは、様々な活動の中での行動面に重点を置き、十分に行動ができていない場面では、その行動を褒め、行動ができていない場面では、行動を促していきます。						
	言語 コミュニケーション	子どもが持つ言語の特性を十分に理解し、その子の特性、発達段階にあったコミュニケーションの習得を目指します。 ・児童発達支援では、非言語コミュニケーション（絵カード、身振り、指差し）によるコミュニケーションを取り入れながら、子どもが伝えたいことを理解していきます。 ・放課後等デイサービスでは、集団内でのコミュニケーション（友達、同学年、先輩、後輩、大人）の仕方を必要に応じて教えていきます。						
	人間関係 社会性	子どもの認知、言語の発達度合いにあった適切な人間関係を築けるように支援をしていきます。療育を通して、自分の感情を調整することを学び、他者を思いやる気持ちを促していくようにし、適切な人間関係、社会性を習得していきます。 ・児童発達支援では、まずは大人との人間関係を築けるように支援をし、集団療育を通して、他児への興味、関心を促していき、適切なコミュニケーションを用いて、人間関係を築けるように支援をしていきます。 ・放課後等デイサービスでは、集団療育をお通して人間関係を築いていきつつ、様々な活動を経験することで、社会性（公共マナー、施設での振る舞い、集団活動の行動面など）を習得するよう支援をしていきます。						
家族支援	・子どもの発達に関する相談、子育て支援 ・就園、就学に向けた相談、説明 ・電子的な情報伝達による即時の情報交換、活動記録の閲覧			移行支援		・利用者の希望により、移行先への情報提供		
地域支援・地域連携	・定期的にある地域の連絡会の参加、連絡会での情報交換 ・関係機関との情報交換、相互見学 ・地域行事への積極的な参加			職員の質の向上		・定期的な研修機会の提供 ・子どもの特性についての職員間での情報交換 ・専門的スタッフによる療育についてのアドバイス		
主な行事等	・課外活動（公共交通機関、公共施設を利用して、そこでの行動、社会性を学んでいきます。） ・運動活動（水泳、体育館でのスポーツ、公園などで、体を動かす方を学んでいきます。） ・職業体験（農業、物作り、祭りの出店体験などを通して、自分の将来に対する興味を促していきます。） ・季節行事（クリスマス会、ハロウィンパーティー、お正月の活動により、他者との関りを増やすことにより、興味関心、コミュニケーションにつながるよう支援していきます。）							